

誰もが使いやすく自然豊かな町

元々の案

町ができること



ユニバーサルデザイン、交通環境
オープンスペース、景観形成、地域資源
連携活用仕掛、ルール運用、空き家関係

わたし（わたしたち）にできること



3R、SDGs、地域活動に参加する
まちづくりに積極的に参加する
自分が住んでいる町の良さについて考える

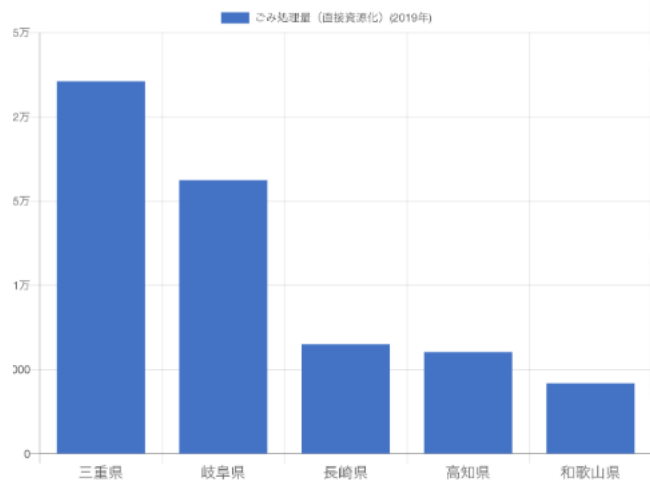
現在の町の良いところ

- 廃品回収などでリサイクルができています。
- おかげバスなどで場所を行き来することが出来るので車がない人も移動がしやすい。
 - 挨拶を返してくれる、してくれる。

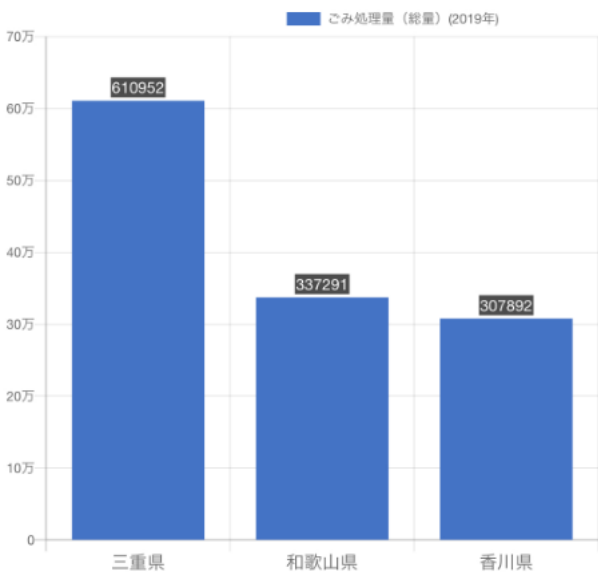
現在の町の悪いところ

- ゴミのポイ捨て
- 足が不自由な人が使いにくい場所がある

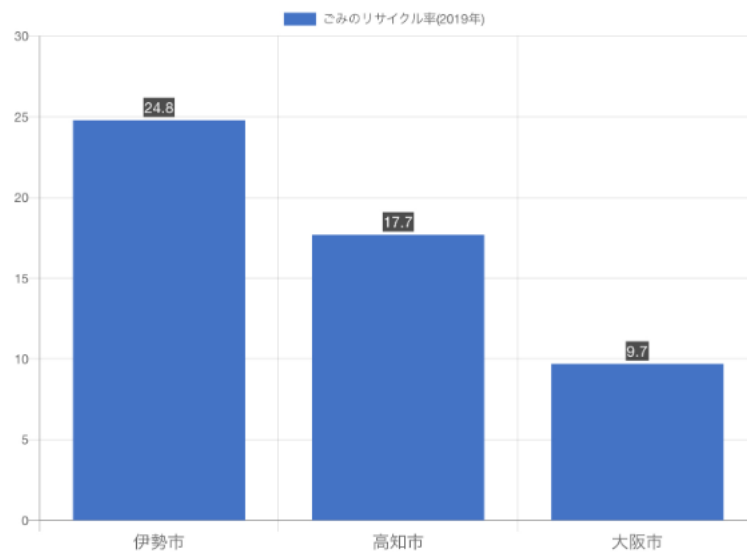
最新年のごみ処理量（直接資源化）比較棒グラフ



最新年のごみ処理量（総量）比較棒グラフ



最新年のごみのリサイクル率比較棒グラフ



ポイ捨てを減らすには

ポイ捨てが多い場所にゴミ箱を設置する
張り紙などで呼びかける

スロープを設置する

下に下げて開けるタイプのドアノブにする

クリップボードと紙とペン

ありがとうございました